

小松島市 議会だより

Seven teen

創刊100号記念号



花水木のキャラクター
「ミズキちゃん」



クイズ

議会だよりは何年から発行されたか？

昭和26年
昭和31年
昭和50年

応募資格
(市内在住の市民の方、
年齢制限はありません)

答えを書いてはがきに
住所・氏名・年齢を記入
抽選で5名様に図書
カード1000円分プレゼント!

当選者の発表は賞品の
発送を以てかえさせて
いただきます。

〒773-8501
小松島市横須町1番1号
小松島市議会事務局 宛
(締切日11月30日消印有効)

前回の答え「マリンバ」

市議会コンサート(ハーバー楽団)

市議会コンサートの出演者を募集しています

次回の市議会コンサートは、12月10日(火)に開催予定です。
参加のお問い合わせは、小松島市議会事務局まで 32・1359

議会報告会開催 します

9月定例会報告

「防災対策」をテーマに意見交換会

11月18日 北小松島公民館

20日 南小松島公民館

21日 立江公民館

19時より

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

常任委員会報告

総務常任委員会

北野 恒男 委員長

高規格救急

自動車を買いかえ

本委員会には議案1件、陳情1件が付託され、審査の結果、議案は原案のとおり可決、陳情については、後記のとおり。また、通年定期制の施行により、適時委員会を開会できること、来年4月末までの本会期中において、津波避難対策について、をテーマとして調査・研究を行うことを決めた。

議案第76号の財産の取得について
老朽化した高規格救急自動車の更新につき、地

については
挙手採決の結果、挙手少数で不採択すべきものと決した。
所管事項での質問
問 防災行政無線の設置場所に低いところがある。浸水地域の設置は、高台に据える等の配慮が必要と思うが。
答 できる限り高台に設定変更したが、今後、検証の結果、不適切な場

合に対応していく。
問 学校を防災倉庫として利用できないか。
答 教育委員会と協議したが、空き教室がないとのことであった。今後は、全小・中学校に防災倉庫を設置できるように進め



購入する高規格救急自動車と同型車

る。
問 入札監視委員会を設置しては。
答 他市の事例を調査し検討していく。

地方税法の改正により、平成26年1月1日から地方税の延滞金の割合が変更されることに伴い、介護保険料の延滞金の割合を改正。
議案第75号 小松島市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例

例
組織改編により、「スポーツ振興課」が、「生涯学習課スポーツ振興室」となったことに伴い、組織名称の改正。
陳情第4号
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の採択を求める」件については、挙手採決の結果、挙手多数で採択した。

文教厚生常任委員会

杉本 勝 委員長

介護保険料等の延滞金を改正

本委員会には議案3件、陳情1件が付託され、慎重審査し、採決の結果、

いずれも原案のとおり可決した。
議案第73号 小松島市

後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正により、平成26年1月1日から地方税の延滞金の割合が変更されることに伴い、後期高齢者医療の保険料の延滞金の割合を改正。
議案第74号 小松島市介護保険条例の一部を改正する条例

文教厚生常任委員会調査研究テーマ
認定子ども園について、文教厚生常任委員会所管において、研究、視察等を行い、成果を議長を通じて行政へ提言を行



新中学校建設の参考にするため城東高校を視察

い、研究テーマを生かせるように努めたい。
文教厚生常任委員会11名で葬斎場視察、研究を実施し、市民の皆様のための新しい葬斎場設立が早くできるように進めたい。

認定子ども園問題についても、将来の子どもの未来とその育成に重点を置き、子ども園問題を考

える必要がある。よい環境をつくり、住んでよかった小松島市実現のため、市民、行政（教育委員会）で、認定子ども園をつくり出してほしい。子どもは国の宝であるといことは国民の知るところである。国、行政は、政策が本当に子どものためなのか考えてほしいものである。

産業建設常任委員会

武田 清 委員長

台風18号に伴い金磯南雨水ポンプ場の水中ポンプを稼働

所管事項での質問
市営住宅について
問 市営住宅の長寿命化計画ができたが、本市の、住宅戸数の考え方は。
答 市営住宅長寿命化計画の中では、国の住宅需要算定式等を用いて、供給戸数の目標を760戸と設定している。

ており、一定の利便性を保って立地している住宅も多いと考えている。都市計画に沿って市営住宅を建設するとすると相当な大事業であり、長寿命化計画にもそのような方針は掲載していないので、既存の住宅の管理・運営が中心となる。

都市計画について
問 今年度に関が実施する都市計画に開する基礎調査の内容は。
答 おおむね5年ごとに、計画区域の人口規模・産業分類別の就業人口規模・市街地の面積・土地利用・交通量等を調査している。

都市計画のスケジュールと市の意見上程

市内各地に適度に分散し

現在市営住宅は、



金磯南雨水ポンプ場

は。
答 今年度の11月頃に基礎調査に着手し、26年度にデータの詳細を行い、27・28年度で内容検討、都市計画決定となる予定。
市はスケジュールの中で素案の作成前に、国と行う事前協議、その後の手続を経て計画案の作成段階での意見聴取の2度意見を述べる機会がある。

金磯南雨水ポンプ場について
問 今回の台風18号に対して、金磯南雨水ポンプ場は運転したのか。
答 台風18号に伴う降雨量は甚大なものであり、市内各ポンプ場も機能を十分発揮できるように稼働した。
9月末に機械・電気設備等の完成を予定している金磯南雨水ポンプ場も、水中ポンプ3台と工事用仮設ポンプ9台を稼働させ、浸水対策に対応した。

予算決算常任委員会

佐野 善作 委員長

平成25年度
一般会計補正予算第3号（公共下水道
事業特別会計補正予算を可決
平成24年度

一般会計・特別会計歳入歳出決算
水道事業・自動車運送事業会計決算
を認定



事務事業評価に関する意見書を市長に提出

平成25年度一般会計補正予算総額2億905万7千円を可決

主な事業	819万5千円
新中学校の用地購入費	1819万5千円
道路照明のLED化	1000万円
ごみ焼却施設整備事業	9500万円
和田島団地汚水処理場施設修繕事業	687万2千円
ごみ収集車 更新	601万2千円
住宅管理事業	300万円
市立体育館施設修繕	811万円
新開小学校運動場整備工事	818万4千円
路線再編後のバス事業に 関して、市民ニーズを把握するための地域交通アンケート調査実施事業 備蓄保存食の購入 生物多様性農業推進事業 金磯南雨水ポンプ場の管理運営費 消防団員安全装備品整備事業	

決算審査を部局別に詳細かつ、慎重に行う

9月17日午後、25年度補正予算審議を皮切りに、18日・19日・20日午前まで、24年度決算部局別審査を行った。25日・26日午前には、議会評価報告書を策定した。26日午後、自由討議・市長に対する総括質疑・討論・採決を行い、決算議案10件を認定、補正予算2件を原案どおり可決した。平成24年度、本市が実施した全372事業から抽出した13事業を対象に、委員会において事務事業評価を行った。まず、部局別審査の中で行政としての評価の説明を受け、質疑を行った。その後、各議員が事務事業評価を行い、委員長に提出された評価シートをもとに議論を行い、議会としての合意形成を図り報告書として取りまとめた。その報告書を委員長から議長に提出。意見書として、本会議で議決を行った。その後、議会の意見書として市長に提出した。

議会評価意見書

平成24年度事務事業評価より決算時に抽出した7事業と、平成24年度予算編成当初に抽出した6事業の計13事業のうちから、抜粋して掲載しました。

事業名	津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業	
議会評価	1	拡充する
東日本大震災における甚大な被害を踏まえて平成23年12月に津波防災地域づくりに関する法律が制定され、この事業が実施されている。内容は、防災用機材、備蓄食糧などの購入から避難経路の整備費まで、防災に関する事業に幅広く活用できるため、事業費の計画的な活用で、早急に整備を進めていく必要がある。また、津波被害から市民の生命を守るためには、緊急避難場所や避難経路の整備など、ハード事業を早急に実施すべきである。		

事業名	戸別所得補償経営安定推進事業	
議会評価	1	拡充する
全国的な農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大、また、今後予想される TPP 参加による農産物の国際競争の激化など、日本の農業を取り巻く環境は、危機に瀕している状態である。国は対策として、24年度から、この事業を初め、本市では市内全域において、人・農地プランの策定が完了している。今後は、この制度を活用し、農産物のブランド化促進や新規就農者への定住促進など、持続可能な農業に向けた本市独自の柱となる振興策が必要である。		

事業名	都市計画マスタープラン策定事業	
議会評価	1	拡充する
都市計画マスタープランは街の未来像をつくる重要な計画であり、中長期的な観点から慎重に議論を進める必要がある。現在は策定市民会議等において、計画策定に向けて議論され、25年度中の策定完了を目指している。都市の整備と自然環境保全のバランスや大規模災害も想定したまちづくり、広域交通ネットワークの連携と、歩いて暮らせるコンパクトなコミュニティの構築など、明確な概念と調和のとれたまちづくりを目指すべきである。		

事業名	ごみ袋関係経費	
議会評価	3	改善・効率化し継続
本市では各種指定のごみ袋を購入し、利用することになっており、ごみの減量化や分別意識の向上に役立っている。ごみ袋の調達においては、競争入札による調達コストの圧縮で、導入当初よりも多くの販売差益が出ている。この差益については、リサイクルやごみの減量化など対策費への充当や、高いと言われていたごみ袋の価額を下げるなど訂正な処分方法を検討し、市民に広く還元すべきである。		

事業名	側溝清掃事業	
議会評価	5	終期設定し終了
23年9月議会においても抽出された事業であり、当時の議会評価報告書には、「市民要望が非常に強く、浸水地域をほぼ全域に抱える低地帯の本市にとって、来る大災害、ゲリラ豪雨などにも対応すべき、日々の側溝維持管理が重要なものである。その対策として、配水系統図、経路を調査すべきである。その上で優先順位を決定し、事業を急ぎ行っていかなければならない。さらには、配置人員増など体制強化を図る上で、管理体制も抜本的に見直すべきである。」と評価している。その後、約1年が経過するが全く改善がなされていない。現体制での事務執行を終了し、この事業の民間委託を含め、事業手法を抜本的に見直すべきである。		

事業名	ミリカホール運営事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
23年9月議会の議会評価報告書において、「改善・効率化し継続」の評価をしているが、翌年の当初予算への反映等改善事項には、使用料の見直しには触れておらず、保健センター多目的ホールの貸し出しについてもゼロ回答であった。再度、検討し改善を要求する。ミリカホールの目的は、貸館事業により収益を得ることではなく、体と心の健康増進と、文化芸術の振興、イベントなどで人が集うことによる賑わいの創出と周辺への経済波及効果などであり、その目的を達成するために利用者の満足度の向上や稼働率の向上を真剣に検討すべきである。		

事業名	市総合グラウンド運営事業	
議会評価	5	終期設定し終了
懸案の事業であったが、平成24年9月議会の事務事業評価以降、用地買収に向けた当局の取り組みにより、具体的に進捗していることは評価できる。今後は、市民の意見を取り入れながら、防災公園としての事業計画の全体像を策定し、早期整備に向けた取り組みを、より一層推進すべきである。		

発言者名	件名
石原 正裕	1. 小松島市の未来像について
	2. 持続可能な農業を目指すには
廣田 和三	1. 平成 25 年度上期の質問に対する検証について
	2. 線引き対応について
	3. 自販機設置契約について
杉本 勝	1. 防災公園（市営グラウンド）について
	2. 火葬場について
	3. 新中学校建設について
	4. 運輸（市バス）について
大木 進	1. 金磯地区下水道総合浸水対策緊急事業について
	2. 道路維持の充実・強化について
	3. 総合防災訓練の実施について
	4. 旧出張所の今後のあり方について
	5. 障害者総合支援法施行に伴う福祉サービスの拡充について
米崎 賢治	1. 競輪事業について
	2. 新中学校建設について
前川 英貴	1. 新中学校・競輪事業の現状と今後のスケジュールについて
	2. 隣保館の耐震工事の現状について
片田 真弓	1. 「社会保障と税の一体改革」について
天羽 篤	1. 子ども・子育て支援法について
	2. 私道の整備について
	3. 都市計画マスタープランについて
	4. 公務員の憲法遵守について
吉見 勝之	1. 庁舎内の防災訓練について
	2. 庁内駐車場整備について
	3. 新中学校説明会について
	4. 和田島小学校雨水排水路整備について
	5. 小学校再編問題について

まちの未来像について

新生クラブ 石原 正裕 議員

答 少子・高齢化に対応したまちをめざす



石原 現在、本市は人口減少に拍車がかかり、今や4万人を切るうとしてい。人口減少を抑制するため若者が魅力を感じるために、本市を定住先として選んでもらうため魅力あるまちづくりが必要であると思うが、市としての方向性は。

よくなるかと考える。急激な人口増につながるものではないが、地道に取り組んでいきたい。

持続可能な農業について

総務課長 居住地として本市を選んでいただくためには、企業誘致による雇用の場を創出すること、また、本市独自の施策を行うことで、他市との差別化を図ることなどが大切であると考えている。例えば、全国的にも数少ない高度救命救急センターの指定を受けている徳島赤十字病院が本市にあり、医療環境が整っていることとは住む人に大きな安心感を与える。こうした利点を生かし、さらに福祉・保育、そして教育環境を充実し、子育てしやすいまちとして、他市との差別化を図ることで、子育て世代の方が小松島市を選んで住んでいただく

現在、本市ではまちの未来像を描く都市計画マスタープランを策定中であるが、これまでの拡散型ではなく、中心市街地を核とした集約型のまちづくりで、インフラコストも抑制でき、災害に強く、歩いて暮らせるコンパクトな市街地と豊かな自然と田園環境を保全した農村部との調和のとれたまちを目指すべきであると考えているがどうか。

市長 近年の加速的に進展している人口減少と少子・高齢化の大きな流れの中でコンパクトなまちづくりを目指すことは、社会資本整備に対する投資の縮小が図られ、効果的なインフラ整備につながるから無理にかなってあり、効果的持続

的な都市空間の形成が必要なることを改めて認識している。このようなことから、人口、社会情勢や都市構造の編成の状況を踏まえ、将来の都市づくりを制定するに当たっての基本的な視点は、人口減少、少子・高齢化に対応するための集約・連携型都市構造を目指していきたいと考えている。

石原 小松島市の農業を持続可能にするために、何に力を入れるべきか、市をあく市長として農業行政をどのように推進するのか。

市長 本市といたしましても、小松島市生物多様性農業推進協議会の取り組み支援を初め、小松島有機農業サポートセンターを市内の農業者の方々に十二分に活用していただけるよう支援を行うことにより、有機農業など安全・安心で環境に優しい持続可能な農業生産を支える取り組みを、より一層推進してまいりたいと考えている。

大災害時における非常食の備蓄数は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答 飲料水は2400人分 非常食は2100人分



廣田 子ども広場・保育所・幼稚園に設置されている屋外遊具の修理等とその後の対応は。

児童福祉課長 急ぐ修理は行った。今後も適宜点検を行う。

安全で快適に利用できるよう今更適切な維持管理に努める。

学校課長 適宜、現場で確認をしながら修理方法の検討をしていきたい。

備蓄非常食をふやせ

廣田 現在、市全体で非常用飲食物は何人分が備蓄されているのか。

市民安全課長 飲料水 14300リットル、2400人分。アルファ米 13000食、缶入りピスケット約5900缶で2100人分を市内の小・中学校などで備蓄している。市民の皆様も自助として個々の非常食の備蓄をお願いしたい。

廣田 人口に見合う備蓄量を確認してもらいたい。

防災無線の進捗状況は

廣田 防災無線工事の進捗状況は。

市民安全課長 8月末時点で64局中48局が完成。地域の防災訓練等で市民の協力を得ながら音達域の確認をしていく。

線引きの対応は

廣田 吉野川市で線引き対応の検討を始める記事が新聞報道されたが、本市の対応は。

	<p>創刊号 昭和 50 年 12 月発行 B5判 1 色刷</p> <p>市の主な出来事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北小松島公民館開館 ・和田島公民館開館 ・消防はしご車配備
	<p>第 30 号 平成 2 年 7 月発行 B5判 1 色刷</p> <p>市の主な出来事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松島市国際交流協会誕生 ・赤石トンネル貫通
	<p>第 50 号 平成 12 年 9 月発行 A4判で一部カラーになる</p> <p>市の主な出来事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日の峰山頂公園完成 ・しおかぜ公園完成 ・しらさぎ浄園 完成
	<p>第 70 号 平成 17 年 11 月発行</p> <p>市の主な出来事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松島市財政非常事態宣言 ・小松島高校秋季四国高校野球大会優勝
	<p>第 90 号 平成 23 年 2 月発行</p> <p>市の主な出来事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田浦浄水場新管理棟完成 ・小松島中学校武道場完成 ・市制施行60周年

小松島市議会広報誌

発行 100号記念特集

これからもよろしく



元市議
林 好則 さん

当時、議会だよりは年 2 回発行。3 月・6 月定例会分と 9 月・12 月定例会分にまとめていた。「2 定例会にわたる多くの議会活動を短い文章でいかに知ってもらえるのか」に編集の段階において、私だけでなく他の議員も苦労した。あれもこれも載せたいと思っても限られたスペースの関係で、掲載したい原稿を削除せざるを得ないこともあった。議会での質疑・質問、議会の活動内容を「議会だより」を通して知ってもらえることは大変ありがたかった。

議会だより編集の思い出



元市議
立川 邦男 さん

議会広報特別委員会は、定例会における質疑応答や各委員会の審査状況を通じて、市当局の行政の姿勢と方向性を市民の皆様には的確にお伝えすることを目標にしている。委員全員で任務分担を定め、質疑応答や審査状況の内容を、いかに的確に短文化するか、校正と編集に侃々諤々の意見を戦わせたことや原稿締め切りの時間に追われ、印刷所さん初め委員の方々とのおしゃべりも懐かしい思い出である。



昭和54年頃の日の峰山から見



た市街地の風景（左に市営グラウンド、右側中央の大きな建物は東洋紡績）

小松島市議会だよりは、議会活動の内容を広く市民に知ってもらおうと、昭和50年12月に第1号が発行されました。その後も、議員で構成する編集委員の努力で創意工夫をしながら、幾多の変遷を経て今日の誌面構成に至っています。これからも多くの市民の声を聞きながら、市民の身近な議会であるために歩み続けたい。

議会だより100号 発刊によせて



市議会議長
出口 憲二郎



小松島市長
濱田 保徳

小松島市議会だより100号記念発刊に当たり、一言「あいさつ」を申し上げます。昭和50年12月20日に第1号が発刊以来38年を経て、ここに市議会だより発行100号を迎えることができました。

発刊以来、平成11年までは年2回の発刊でありましたが、市民の皆様の声を受けて平成12年から広報特別委員会を立ち上げ、議員みずからで編集することとし、ページ数をふやし発行回数も年4回にするなど、「開かれた議会」を目指して毎号、誌面構成を創意工夫してまいります。

今後市民の皆様からのご意見をいただきながら市議会のあり方、議会活動状況等を皆様にお伝えできるよう市議会広報誌とすべく、議員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご協力、ご指導をお願いいたします。

「小松島市議会だより100号」の発刊を心からお祝い申し上げますとともに、編集・発刊に当たられた皆様の熱意とご尽力に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

現在、国におきましては、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組んでおりますが、地方自治体におきましては依然として厳しい状況が続いており、今後時代即した分権型社会の構築、既存の社会経済構造の大きな変革が求められているところでもあります。

このような状況の中、議員の皆様におかれましては、社会経済事情を背景にした重要な諸問題について、熱心な討議研究を重ねられ、着々とその成果を挙げてまいられました。また、議会だよりの発刊、ふれあい市議会コンサートの開催等、市民の皆様が親しみをもち、身近に感じることができた議会を目指して、ご尽力されておりますことに改めて敬意を表する次第であります。

今後市議会のさらなる発展を遂げられることをご期待申し上げます。

防災公園(市営グラウンド) 交付金申請状況は

新生クラブ 杉本 勝 議員

答 国交省所管の社会整備資本総合交付金と地方公共団体の個別補助金を一括申請している

杉本 防災公園は、市民の皆さんの長年の問題である。市から国へどのように補助金制度が申請されたのか。

総務部長 国土交通省所管の社会整備資本総合交付金で、社会整備やソフト事業を総合的に一体的に支援する交付金で、都市防災総合推進事業、自治体を実施する事業として活用しやすいメニューである。密集市街地に代表される防災上危険な市街地の防災性向上に、避難、避難路の整備などハードからソフト対策事業まで多岐の事業が対象とされている。本年2月



市営グラウンド

葬斎場について

杉本 葬斎場建設の現状と内容の進み具合はどうか。

市民生活課長 小松島市公共施設あり方検討委員会では、今年度に事業推進体制の構築を図り、葬斎場整備基本計画を作成し、平成26年度に、基本設計の策定及び都市計画法に基づく事業認可の手続きを行い、平成27年度に、実施設計の策定及び2年間程度の予定で、新斎場建設工事を行い、新葬斎場完成後は、旧葬斎場の解体工事及び外構工

答 平成24年度に予備設計は完了しており道路詳細設計の事務作業を進めている

大木 浸水対策事業の今後の取り組み予定は、

都市整備課長 メーン整備の枝線水路も事業変更

手続が必要で、国・県と協議を進め、浸水被害の低減を図る。

大木 事業延伸の許可は

得られるか。見通しは、

都市整備課長 平成26年度中に変更許可が得られるよう努める。

大木 老朽化する市道橋

の現時点点検の進捗状況と対策の取り組みは、

都市整備課長 これまで蓬菜橋、神代橋の修繕をし、橋長5メートル以上の67橋は、7月より点検調査に着手した。

避難路としての市道 金磯9号線整備計画は

公明党 大木 進 議員

答 平成24年度に予備設計は完了しており道路詳細設計の事務作業を進めている

大木 道路照明施設LED化と市管理の街灯の数は、

都市整備課長 製品価格

が低価格化が確認され、水銀灯と切りかえる。道路灯188基のうち、削減効果大の73基を順次切りかえる。

大木 今回のLED化で

電気代の削減効果は、

都市整備課長 電球の寿命は5倍の15年で、電気料金は75%の節約で、15年間の効果は、電気代だけで2千万円の削減になり、今後鋭意LED化を進めていく。



総合防災訓練の実施について

大木 市民の意識を変え

る上でも、総合防災訓練

を実施すべきでは、

市民安全課長 災害時の

市民の取るべき行動、地域共助を再確認していただきたいながら、次年度以降取り組み。



市総合防災訓練

「サテライト徳島」開設後の効果は

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

答 はっきりと把握できていないのが現状である



収支改善効果について

米崎 収支改善計画書に

は、宿舍を開放し収入増加が見込まれると書かれているが、どのくらい効果を得られているのか。

競輪局長 一般宿泊者向けの施設ではなく、管理

費用が発生するため実施

ガールズ育成について

米崎 女子選手が所属し

ている県では、ガールズケイリンが開催されやすいと思うので、小松島でもガールズ育成を実施してみたい。

競輪局長 本県出身の女子競輪選手を誕生させる

ためには、女性に自転車

旧出張所の今後のあり方について

大木 立江、坂野両出張

所が廃止され1年5カ月が過ぎたが、今後の相談所のあり方は、

市長 相談員の配置は住

民に説明後、廃止の方向で検討していく。

大木 障がい者施策の見直しについて

大木 本年4月より障害者総合支援法が施行されたが、どこが改善された

に乘ることの楽しさやおもしろさを伝え、親しみを持っていただき、自転車競技人口をふやすことが大切である。



ガールズケイリン

立江・坂野での新中学校説明会について

米崎 新中学校建設の説明会が、設計業者のプランを持って7月中に2カ所で行われたと聞いてい

た。

のか。

介護福祉課長 障害福祉

サービスを受けるには身障者手帳が必要であったが、難病の方には手帳の有無にかかわらず認定の手続を得ればサービスが利用できるようになった。

るが、説明内容・また参加者のご意見やご提言はどうであったのか。

教育政策課長 設計業者からのプレゼンテーションの内容を説明し、校舎の最上階までの車いす用スロープを設置できないのかといったご意見があった。

米崎 保護者やPTA関係者でなく、地域住民への周知や説明会はないのか。

教育政策課長 学校を通じての各家庭への案内配布、広報こまつしま、徳島新聞の広報こまつしま欄への記事の掲載など、今後とも市民にご理解いただけるように、できる限りの広報活動に努めてまいりたい。

米崎 競輪場への無料送迎バス運行が一部廃止され、サテライト徳島へお客様が流れているようだが、市への効果は、

競輪局長 開設7カ月なので、状況的・流動的な部分もあり、はっきりと把握できていないのが現状である。



サテライト徳島(マリンピア沖洲)

新中学校建設の進捗状況は

新生クラブ 前川 英貴 議員

答 28年4月の開校に向け着実に事業を進める



前川 新中学校建設は、今後どのようなスケジュールで事業を進めていくのか。

産業建設部長 平成22年度で、2年連続して大幅な赤字を出す結果となり、これまでの経費削減だけでは収益の確保が極めて困難であることから、赤字が大きな要因となっている普通競輪の開催日数の削減や、競輪振興法人への交付金の猶予の適用を受けて取り組んだところ、24年度決算において赤字を解消し、黒字とすることができた。今後も経費削減に努め、女性や若年層をターゲットにしたイベントを開催するなどの新規ファンの獲得に取り組み、売り上げの増加を図っていきたい。

隣保館の耐震工事について

前川 市内にある3カ所の隣保館の耐震工事を来年度に行うと聞いているが、今後のスケジュールは。

入権推進課長 本市には、小松島厚生福祉解放センター、目佐厚生福祉解放センターの3隣保館があり、いずれも築35年以上が経過している。早急に耐震工事を必要とすることが判明し、来年度に実施する。

前川 本市において競輪事業が行われるようになって60年になる。以前は、地域経済への寄与に大きく貢献してきたが、近年は売上高も減少し、赤字額も年々大きくなりつつある。そうした

状況下で、今後の競輪事業のあり方についてどのようにするのか。

片田 生活保護基準の引き下げにより就学援助に影響はないのか。

学校課長 文科省からの就学援助費に対する基準の見直しについての通知はなく、本年度中の見直しはない。

片田 厚生労働省による標準的な所得の半分以下の世帯で暮らす子ども6人に1人が貧困状態で、親が経済的な理由で子どもに教育を受けさせられない、子どもは安定した職業につけない、その子どもも貧困から抜け出せないという貧困の連鎖を断ち切り、子どもの生

れ育った環境にかかわらず健やかに育つ環境を整備し、教育の機会均等を図ることに国や地方自治体は努めるべきである。

生活保護を受けられる権利、制度の説明を

日本共産党 片田 真弓 議員

答 生活保護制度を多くの方に知らせるよう「広報こまつしま」に掲載する



片田 生活保護基準の引き下げにより就学援助に影響はないのか。

介護保険の見直しは

片田 介護保険法は、軽度者向けサービスの見直しで、要支援1・2を、保険給付の対象から外し、2017年度までに、市町村事業に移行する方針を固めた。利用料も一定以上所得のある人は2割にするとする。本市での要支援者の状況はどうか。

介護福祉課長 本年8月末で、認定者総数は2154名で、要支援1が290名、要支援2が441名となっており、通所係のサービスは全体の2分の1で、リハビリは県内他市町村の中で1人の利用量が最も多い。

片田 要支援の介護外しは、配偶者や子ども世代への負担がふえ、高齢者の重症化になる。質を保証する国の責任が問われる。市独自のサービスを行うことを求める。

片田 厚生労働省による標準的な所得の半分以下の世帯で暮らす子ども6人に1人が貧困状態で、親が経済的な理由で子どもに教育を受けさせられない、子どもは安定した職業につけない、その子どもも貧困から抜け出せないという貧困の連鎖を断ち切り、子どもの生

年金の国庫負担金、2分の1への恒久的な引き上げ等、年金給付の特例水準を廃止し、市場経済スライドに基づき額の改定を行う。支給開始年齢の引き上げを含めた年金受給のあり方の検討など、本市として国の動向を注

視していく。

前川 3カ所の隣保館の耐震工事に伴い、小松島厚生福祉解放センターと目佐厚生福祉解放センターの在園児は坂野保育所、県前保育所の在園児は泰地保育所で1年間保育を受けていただく予定であることをお伝えし、理解

をいただいた。

前川 来年度、2カ所の保育所の募集がないこと、市内全体で待機児童が出るのではないかと。児童福祉課長 来年度の入所の応募状況を見ながら、適切に対応していく。

る。支給開始年齢が68歳から70歳への引き上げや医療費の窓口負担が1割から2割となる。年金開始年齢の引き上げの中止を求める。

健康増進課長 公的年金については、年金生活者支援給付金の支給、基礎

を定めている。



市職員に憲法擁護義務があるのか

日本共産党 天羽 篤 議員

答 あらゆる公務員に憲法擁護義務がある



天羽 憲法第99条で公務員は憲法を擁護する義務があると定めている。本市職員にも適用されるのか。

天羽 生活保護や国民健康保険は憲法第25条生存権に基づく社会保障制度だ。その理念を念頭に置いて仕事に当たってほしい。

天羽 市は都市計画マスタープラン線引きの見直し時期は

天羽 市は都市計画マスタープランを策定中である。線引きを見直しするかどうかの結論時期はいつか。

都市整備課長 今年度から

ら徳島県東部都市計画区域マスタープランの次回見直しに向けた基礎調査を実施する。この調査の結果を踏まえて判断する。

天羽 私道である公衆用道路は、関係戸数が10軒以上の場合もあり、公共性が高い。市が舗装などの整備ができないか。

秘書人事課長 本市においても、憲法を擁護すること、さらに公益のために義務を負うことを義務づけている。

天羽 南海トラフ地震に備え、事前復興計画をマスタープラン盛り込むべきだ。家屋が移転できる高台を計画すべきだ。

都市整備課長 災害に強い都市構造を目指し、3

区域に編入する逆線引きの条件は。

都市整備課長 基本的な要件は、おおむね5ヘクタール以上の一団の土地で、当分の間、市街地整備の見込みのない区域であること。

都市整備課長 市道に格上げする基準を公表してはどうか。

都市整備課長 市道編入基準は内規として定めているが、今後は公開する。



芝田学童保育クラブ

庁舎内の防災訓練は 開催しているか

新生クラブ 吉見 勝之議員

答 平成22年1月に本庁舎の倒壊や津波被害を想定し実施した

吉見 地震時に避難路は確保できるか。
総務課長 避難経路の廊下等にある、いす、机等は避難に支障を来すおそれがあるので、整理に努める。

吉見 津波避難場所と火災時の対応は。
総務課長 6メートルの津波は3階以上で十分避難できる。4階に避難袋の設備があるが長期間利用してないので、確認し、必要があれば改修する。

吉見 議会開催時等に防災訓練を実施しては。
総務課長 事前の周知など調整が必要。特殊な場面も含めて想定をし、検討していく。

吉見 「お・も・て・な・し」の言葉によって東京五輪誘致が決定した



市役所駐車場

吉見 「お・も・て・な・し」の言葉によって東京五輪誘致が決定した

吉見 「お・も・て・な・し」の言葉によって東京五輪誘致が決定した



とも言われている。来庁者に、車内が暑くならないように、「おもてなし」の心で駐車場に木を植え木陰をつくれればどうか。

総務課長 夏場には木陰ができるが、秋や冬は清掃に手間と経費がかかるので現状のまま運営する。

吉見 子どもを持つ保護者以外にも地区の人たちに広く説明会が集まってもらい、親切丁寧に説明するべきではなかったのか。

教育政策課長 説明会は平成22年7月より6回。幼稚園、小学校再編は24

新中学校説明会について

吉見 子どもを持つ保護者以外にも地区の人たちに広く説明会が集まってもらい、親切丁寧に説明するべきではなかったのか。

年1月より全11小学校で開催した。地域への説明が足りなかったとは考えていない。

吉見 広報誌には何回載せたのか。
教育政策課長 平成22年7月を初め4回。さらに周知を図るために、幼小・中の学校を経由して各家庭に案内状を配布し、また、徳島新聞の広報こまつしま欄を利用して広報をした。

吉見 地元が反対時の対応は。
教育政策課長 5校への再編等とそれに伴う校区割り提示しているが、学校の場所については示していない。新中学校開校後5年から10年を期間として、建設場所の確保と地域の合意が得られた所から進めるとの内容になっている。

吉見 地域が反対したときの対応を現時点で想定して答えるのは困難である。

小学校再編問題について

吉見 地域が反対時の対応は。
教育政策課長 5校への再編等とそれに伴う校区割り提示しているが、学校の場所については示していない。新中学校開校後5年から10年を期間として、建設場所の確保と地域の合意が得られた所から進めるとの内容になっている。

9月議会に提出された陳情の審議結果	
陳情第4号	陳情第5号
採 択	不採 択
<p>提出者 全国森林環境税創設促進議員連盟</p> <p>「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について</p>	<p>国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書</p> <p>提出者 消費税の廃止を求める徳島県各界連絡会 代表者 山根 憲一</p>

意見書 2 件 関係大臣に送付しました

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を求める意見書

「地方税財源の充実確保」を求める意見書

議員の賛否表（平成25年9月定例会）

議案・議提・陳情	議 員 名（議席番号順）															
	前川 英貴	杉本 勝	片田 真弓	天羽 篤	廣田 和三	米崎 賢治	井村 保裕	北野 恒男	吉見 勝之	武田 清	安平 剛之	佐野 善作	石原 正裕	大木 進	宮崎 欽司	井内 建治
第61号	平成24年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について															
第62号	平成24年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について															
第63号	平成24年度小松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について															
第64号	平成24年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について															
第65号	平成24年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について															
第66号	平成24年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について															
第67号	平成24年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について															
第68号	平成24年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について															
第69号	平成24年度小松島市水道事業会計決算の認定について															
第70号	平成24年度小松島市自動車運送事業会計決算の認定について															
第71号	平成25年度小松島市一般会計補正予算（第3号）															
第72号	平成25年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）															
第73号	小松島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について															
第74号	小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について															
第75号	小松島市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例について															
第76号	財産の取得について															
第77号	監査委員の選任の同意について															
第78号	訴えの提起について															
議提第7号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を求める意見書について															
議提第8号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書について															
委員会提出議案第1号	議会評価意見書の提出について															
陳情第4号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について															
陳情第5号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書															

は賛成 反対 - は欠席 出口憲二郎議長は採決には加わりません。

平成 25 年 12 月 定例会 議 日 程

月 日	曜	開議時刻	議 事
12月5日	木	午前10時	開会（議案提出）
12月10日	火	午前10時	質疑・一般質問
12月11日	水	午前10時	質疑・一般質問
12月13日	金	午前10時 午後1時	総務常任委員会 文教厚生常任委員会

月 日	曜	開議時刻	議 事
12月17日	火	午前10時	産業建設常任委員会
		午後1時	予算決算常任委員会
12月19日	木	午前10時	議決・散会



平成24年度決算を審議中の予算決算常任委員会。議員はタブレット端末機使用、行政側は紙文書で審議。

クイズ回答にあわせて寄せられた御意見

<p>市議会だよりの作成に手間がかかって大変です。ご努力に感謝しております。毎回すみずみ迄読ませて頂いています。市議会コンサートは楽しい企画なので続けて下さい。</p> <p>男性 67歳</p>	<p>編集委員の方々のご苦労により楽しく読んでおります。議員の皆様活躍ぶりがよく分り議会に親しみが持てる様になりました。今後もより良い誌面づくりをよろしく願っています。</p> <p>女性 72歳</p>	<p>私は愛媛県出身で3年前小松島に引越してきました。近くに病院、学校、スーパー、市役所とても便利で、住みやすく大好きです。小松島市がもっと住みやすく注目される市になりますように。</p> <p>女性 29歳</p>	<p>平成24年度が前年度に続き黒字決算との事、嬉しい限りです。小松島は借金が多いためと敬遠されがちですが、私は住みやすく第2の故郷になつてます。市民目線で行政改革の方を推進して下さい。今後の取り組みにも期待しています。</p> <p>女性 37歳</p>
--	--	--	--

編集後記		編集委員	
<p>議会広報3回目の編集に携わっています。限られた誌面の中で見やすく伝える誌面、読んでもらえる誌面づくりに「あだこうだ」と編集会議で知恵を絞っています。</p> <p>9月から通年議会となり会議の回数もふえました。こうした会議の内容を皆様にお伝えできるように誌面構成を工夫しながら頑張っています。早いもので今年もあと2ヵ月を切りました。1年が過ぎるのが格別早く感じられます。</p> <p>（副委員長 廣田 和三）</p>	<p>米崎 賢治 委員</p> <p>片田 真弓 委員</p> <p>前川 英貴 委員</p> <p>吉見 勝之 委員</p> <p>杉本 勝 委員</p> <p>佐野 善作 委員</p> <p>廣田 和三 副委員長</p> <p>天羽 篤 委員長</p>		